

第192回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成25年10月3日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 早川 富美子(委員長)
古磯 勝子
片岡 真理
島田 恭子
長 茂男

(2) 欠席委員の氏名 片山 貴之(副委員長)
青木 敬信

(2) 放送事業者側出席者 大森 敏秋(代表取締役社長)
佐藤 望(放送部長)
古寺 雄史(放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

9月23日の午後1時30分から放送した休日特別番組「世界水泳 in バルセロナ めざせ！
世界No.1 スイマー 萩野公介」について、試聴と意見交換を行った。

事業者

栃木県出身で、現在、日本を代表する水泳選手となった萩野公介選手が挑戦した、
バルセロナでの世界水泳大会を、鹿島田アナウンサーが現地取材を行い、大会の様子、
本人のインタビューなどを交えて、その活躍ぶりを紹介しました。

また、番組協賛のエミレーツ航空の魅力や、バルセロナの観光スポットなども紹介しました。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

地元出身の世界レベルの選手を応援しようと特番を企画、実現したことは評価出来る。
ローカルのFM局として、とてもいいトライであり、意義があった。

委員：

萩野選手本人が栃木のリスナーに向けてコメントしてくれたことに親近感を感じ、好感がもてた。
また、その想いもとても伝わってきて、とても印象深かった。

委員：

番組内容がタイトルからイメージするものとかなり違っていて違和感を感じた。
このタイトルでいくなら、世界水泳に臨んだ萩野選手にもっとスポットを当てて、
内容を構成してほしかった。

委員：

萩野選手の泳ぎの実況パートには臨場感がなく、泳ぐイメージが浮かんでこなかった。
また、その演出方法にも違和感を感じた。

委員：

大会がおこなわれたスペインという国やバルセロナの都市の説明が物足りなく、
もっと丁寧に紹介してほしかった。また、協賛会社の広告パートは、紹介がありきたりで
その魅力をあまり感じられなかった。

委員：

萩野選手のレギュラー番組「JUST DO IT」での内容を、この特番でもうまく活用して、
番組を作ってほしかった。きっとその方が特番の内容に厚みが出たと思う。

委員：

鹿島田さんのナレーションは語尾が聞き取りにくく、さらにBGMが大きめだったので、
大切な情報が理解出来ないまま、番組が進んでしまった。

委員：

BGMは、アップテンポなものを中心に選曲されており、スポーティなイメージは出ていたが、
騒がしく落ち着けて聴けなかった。また、歌が入ってからの音量バランスにも配慮がなく、
さらに、現地での音も混在して、ナレーションをより聞きづらくしていた。

委員：

内容がスムーズに入って来ず、一所懸命聞こうとしてはじめて、その内容がやっと理解出来た。
ずっと聞くのは、辛い内容だったのではないか。
また、せっかく現地まで行ったのだから、見たものについて、綺麗に原稿を読むのではなく、
もっとそこに想いを込めて、番組で伝えてほしかった。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を11月7日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日
(1) 放送 10月27日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
(2) 書面 本社事務所に備え置き
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし